

# 海上保安施設等の耐災害性強化対策【国土交通省】

## 施策概要

海上保安施設(庁舎・航空基地・船艇基地・陸上通信施設)等について、非常用電源設備の設置や燃料供給体制の確保等を実施し、耐災害性を強化

## 効果

海上保安施設等の機能喪失を防止し、継続的な救助・支援活動等の実施に寄与

### 全国的な対策と効果

#### 非常用電源設備の設置等(132箇所)

整備した非常用電源設備



災害に伴う停電発生時においても、非常用電源設備からの給電により、通信体制を確保

#### 燃料供給体制の確保等(19箇所)

整備した給油設備



災害時における燃料供給体制確保のため、耐災害性を強化した給油設備の整備を実施

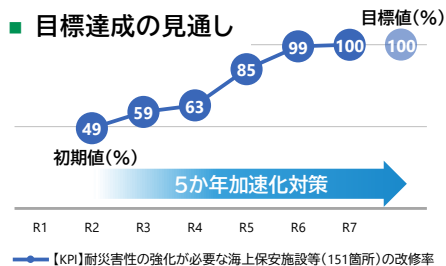
施設名	平時の役割	災害時の役割	
船艇基地	海上保安業務を行う巡視船艇等の活動拠点	発災時においても継続的な救助・支援活動等を行う巡視船艇等の活動拠点	 整備した浮桟橋
陸上通信施設	船舶が遭難した際の通信や、船舶への海上安全情報の提供に関する通信等を実施	発災時においても平時の役割を継続するとともに、災害対応に従事している巡視船艇・航空機等との通信を実施	 整備した陸上通信機器

### 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
5億円	-	6億円
R6	R7	累計
6億円	-	17億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

### 目標達成の見通し



## 整備事例

# 浮桟橋の更新により耐災害性を強化し、継続的な救助等を実施する



海上保安庁  
第七管区海上保安本部

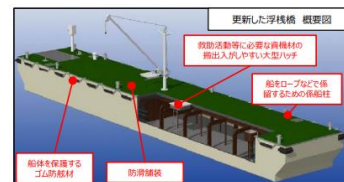


長崎県吉崎市



吉岐海上保安署浮桟橋整備事業

### 浮桟橋の更新



### 事業費

1.3億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)1.3億円)

### 事業の背景(地域の課題)

海上保安庁では、「海上の安全及び治安の確保を図ること」を任務とし、この任務を果たすため全国各地に巡視船艇等を配備しているところ、これら巡視船艇等の安定した係留施設を確保するため、浮桟橋を整備しております。しかしながら、これら浮桟橋は全国的に老朽化が著しくなっており、災害による物的被害が発生して係留施設として機能しない場合、当該施設を拠点とする巡視船艇等の任務に支障が生じるため、発災時においても継続して任務を遂行できる係留施設の確保を行う必要がありました。吉岐海上保安署巡視艇の浮桟橋についても、製造から30年以上が経過しており各種部材の老朽劣耗が著しい状況でした。

### 事業の内容

災害による物的被害が発生し、係留施設としての機能を喪失することにより、吉岐海上保安署浮桟橋を拠点とする巡視艇の継続的な救助・支援活動等の実施や巡視艇船体及び職員的安全確保に支障が生じることがないように、浮桟橋の更新を実施しました。

### 見込まれる効果

桟橋の更新により耐災害性の強化を図ることができ、台風等の災害による被害を未然に防止し、安定した係留施設を確保することで、継続的な救助・支援活動等の実施が可能になります。また、桟橋の更新により、巡視艇船体及び職員的安全確保が可能となります。

(1) 人命・財産の被害最小化

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(2) 交通・インフラの維持

2 インフラの老朽化対策

(1) 施策のデジタル化

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化